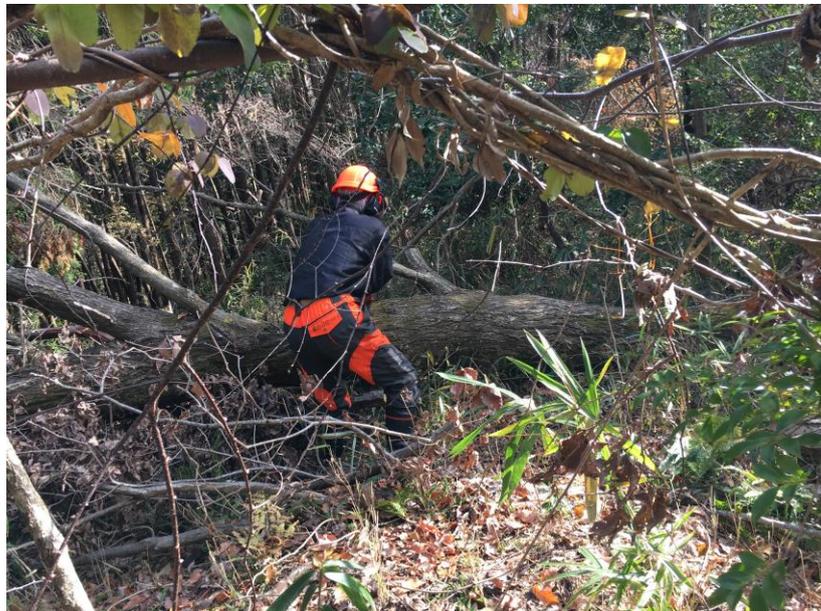


総会議案書



日時 2019年5月7日

場所 市役所

富田林の自然を守る市民運動協議会

総会次第

開会あいさつ
会長あいさつ
富田林市あいさつ

議事

第1号議案	2018年度	事業報告
第2号議案	2018年度	決算報告
第3号議案	2018年度	会計監査報告
第4号議案	2019年度	事業計画(案)
第5号議案	2019年度	予算(案)
第6号議案	2019年度	役員(案)

第1号議案 2018年度 事業報告

I. 2018年度の活動の概要

1. 自然環境保全活動（生態系保全、生物多様性保全）

(1) 里山保全活動

- ①雑木林の林床管理（下樵りを中心に）
- ②人工林（スギ・ヒノキ林）の管理（間伐・枝打ちなど）
- ③竹林管理（雑木林および人工林に侵入したタケの除伐、竹林としての管理）
- ④作業路（観察路）造り
- ⑤草地管理（放棄田とその畦、溜池の土手などの草刈り）
- ⑥水生生物の保護と育成（水の生き物池の管理）

(2) 河岸段丘崖の竹林整備

中野町の竹林管理

2. 文化的行事（自然とのふれあい、自然に親しむ、自然への理解を深める活動）

- ①米作り体験（田植え、稲刈り、稲こぎ）
- ②春の野草を食べる
- ③シイタケの植菌
- ④里山クラフト（蔓細工）
- ⑤どんどもちつき
- ⑥自然観察（植物、昆虫、野鳥、水生生物）

3. 自然観察・調査研究・政策提言活動など

- ①自然観察会（上記の文化的活動と共通）
- ②自然環境保全活用調査（以後：活用調査）
- ③「富田林の自然」誌No. 17の発行
- ④生物多様性に関する取り組み

4. 協議会参加団体の活動への支援・援助

これら当協議会（以後：協議会）の多くの事業は富田林の自然を守る会（以後：守る会）と一体的に取り組まれた。

5. 協議会と守る会の活動のまとめ

6. 協議会参加団体の活動

7. 2018年度の活動などで特徴的だったこと

II. 具体的な活動

1. 自然環境保全活動（生態系保全活動）

(1) 里山保全活動（表1）

表1に示すように「里山ホリデー」（おむね月1回日曜日に実施）、「里山保全作業と交流会」（午前は里山保全作業を午後は交流会）、「自然観察路の整備」（嶽の会が主体）の3つの行事で取り組んだ。2018年9月4日に大阪を襲った台風21号により奥の谷にも大きな被害が出た。それ以後の活動の多くは風倒木の処理

など観察路の復旧が中心となった。これらの活動への参加者数は延べ68人であった。シイタケの植菌は3月10日に予定していたが、雨天中止となったので4月13日にNICE週末キャンプの作業として行った。

表1 里山保全活動

年	月	日	曜	行事名	作業内容	参加人数			参加者
						大人	子ども	計	
2018	4	15	日	里山ホリデー	雨天中止	—	—	—	
2018	5	20	日	里山ホリデー	溜池周辺の草刈り	17	0	17	水利組合、初芝夜、NICE、守る会の協働
2018	7	22	日	里山ホリデー	田の草取り	20	3	23	守る会、NICE
2018	12	16	日	里山作業と交流会	シイタケ構木用コナラの伐採、観察路の風倒木処理、交流会	17	0	17	守る会、NICE
2019	1	27	日	観察路整備	観察路清掃(内田林)、観察路の風倒木	6	0	6	嶽の会が中心
2019	2	10	日	里山ホリデー	風倒木処理	5	0	5	守る会、NICE
2019	3	10	日	里山ホリデー	雨天中止 (自主活動に変更)	(4)	0	(4)	守る会、NICE
参加者数合計(延べ)						65	3	68	



観察路の倒木処理

里山保全活動は、このほか「守る会」の主催で取り組まれた「里山保全作業」(毎月第一金曜日、「大阪シニア自然カレッジ里山部会」の人たちが多数参加)、「守る会」と「NPO 法人日本国際ワークセンター(以後、NICEと略す)」との共催事業(国際ワークキャンプ、週末ワークキャンプ、国際週末ワークキャンプ)、「守る会」が外部団体を受け入れて実施した事業[「公益社団法人大阪自然環境保全協会(以後、保全協会と略す)」主催の自然環境市民大学(以後、市民大学と略す)、その他受け入れた講座など]などでも実施された。これらの活動はすべて奥の谷の里山で実施された。

(2) 石川河岸段丘(中野町)の竹林整備(表2)

竹の伐採、チップパーによる竹のチップ化、東側法面および西側平坦地の草刈り、2017年度に伐採したクヌギなどの大径木の処理などを行なった。表2に示したように作業は18回実施し、延べ97人が参加した。また、守る会有志による自主的作業が10数回行われ、西側の裏面のスロープ、北東側入り口の竹柵、北側入り口の門などが作られた。2018年12月6日には新堂小学校6年生のボランティア授業を受け入れ、竹の伐採、ワークショップ、竹工作が行われた。

表2 中野町竹林整備

No.	開催日時				参加人数			作業内容
	年	月	日	曜	大人	子ども	計	
1	2018	4	1	日	5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
2	2018	4	21	土	7	0	7	タケノコ堀、東側法面の竹の伐採
3	2018	5	13	日	3	0	3	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
4	2018	6	24	日	7	0	7	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
5	2018	7	7	土	—	—	—	雨天中止
6	2018	8	5	日	5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
7	2018	9	24	月	6	0	6	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
8	2018	10	28	日	3	0	3	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
9	2018	11	11	日	5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
10	2018	11	24	土	8	0	8	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
11	2018	12	2	日	5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
12	2018	12	9	日	3	0	3	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
13	2019	1	6	日	7	0	7	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
14	2019	1	19	土	5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
15	2019	2	2	土	6	0	6	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
16	2019	2	24	日	7	0	7	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
17	2019	3	9	土	10	0	10	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
18	2019	3	24	日	5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
参加者数合計(延べ)					97	0	97	



中野町の竹林の
チップパー収納小屋

2. 文化的活動（自然とふれあい、自然に親しむ活動、自然への理解を深める活動）

(1) 米作り体験（表3）

奥の谷の水田（約300㎡）を借地し、米作りを実施。協議会の行事としては①田植え、②稲刈り、③稲こぎ（脱穀）を行った。三行事を通じ延べ109人が参加した。水田の耕耘等田植えの準備、水の管理、田の草取りなどは守る会が行った。



田植え

回	行事名	開催日時					参加人数			内容
		年	月	日	曜	時	大人	子ども	計	
1	田植え	2018	6	9	土	10:00~16:00	31	19	50	手植え
2	稲刈り	2018	10	13	土	10:00~16:00	29	5	34	ノコギリ鎌、はぜかけ
3	稲こぎ	2018	11	3	土	10:00~16:00	22	3	25	足踏み脱穀機、篩、唐箕
参加者数合計							82	27	109	

(2) その他の文化的行事（表4）

その他の文化的行事を表4に示す。春の野草を食べる会、里山クラフト、どんと餅つきを実施した。三つの行事を合わせて179人が参加した。

①野草を食べる会

みんなで摘んできた野草について解説し、調理した。メニューはヨモギ団、ヨメナ・タケノコご飯、野草のおひたし（セリなど）、ノビルのぬた、タケノコの木の芽和え、各種野草の天ぷらなどであった。この行事は毎年大変好評で、老若男女61人が参加。にぎやかで楽しい催しであった。

②里山クラフト（蔓細工を中心に）

11月23日（祝）に佐々木氏を講師に実施した。午前中は山に入りフジ、アケビ、アオツツラフジなどの蔓を採取し、午後はそれを用いて籠やリース作りを行った。

③どんともちつき

1月13日（日）に実施した。最初に書初めを行い、続いてどんと焼きを行った。そのあともちつきを行った。きな粉もち、あんこ餅、雑煮などを作り、みんなで楽しく食べた。どんどの準備は前日に守る会とNICEで行った。

回	行事名	開催日時					参加人数			内容	備考
		年	月	日	曜	時	大人	子ども	計		
1	春の野草を食べる会	2018	4	29	日	10:00~16:00	40	21	61	野草の採取、食べられる植物の説明、調理（ヨモギ団子、タケノコご飯、セリのおひたし、各種てんぷらなど）	
2	里山クラフト	2018	11	23	金	10:00~16:00	14	5	19	蔓植物の採取、つる細工	
3	どんともちつき	2019	1	13	日	10:00~16:00	82	17	99	書き初め、どんと焼、もちつき	内NICE21人
参加者数合計							136	43	179		



里山クラフト（作品と一緒に）

3. 自然観察・調査研究・政策提言活動など

(1) 自然観察（表5）

自然観察会は表5に示すように、これまでの植物観察会、水の生き物観察会、昆虫観察会、野鳥観察会に加え3月に春を見つける観察会と称してアカガエルの卵やフキノトウなど春先に出現する生き物を観察する会を実施した。これらの観察会を通じての延べ参加者数は123人であった。

①植物観察会

奥の谷の農道や観察路を歩いて、開花または結実している草本類、木本類を中心に観察した。

②水の生き物観察会

6月17日（日）に実施した。水の生き物池で子どもたちを中心に水生生物を捕獲しそれらの種類を調べた。

③昆虫ウオッチング

7月2日（土）に実施した。午後3時に集合し、昼間はトンボやチョウを捕りながら山野を歩き、バイトトラップ（バナナ）を樹木などに仕掛けた。その後嶽山の昆虫標本（守る会所蔵）を観察した。夕食後山裾に設置したライトトラップを点灯した。日没後、樹液にきている昆虫やバナナトラップにきている昆虫を観察

しながら真っ暗な山中を懐中電灯を頼りに歩いた。

④野鳥観察会

2月17日(日)、上村賢氏(日本野鳥の会)に講師を依頼して実施した。これまで錦織公園で実施してきたが、2018年度は石川～春日神社～奥の谷のコースに変更して実施した。

⑤春を見つける観察会

早春の3月2日に実施した。水の生き物池には1月末から2月にかけてアカガエルが産卵しており、数十個の卵塊を見ることができた。

回	行事名	開催日時				参加人数			観察した生き物	備考
		年	月	日	曜	大人	子ども	計		
1	植物観察会	2018	4	8	日	7	0	7	ウワミズザクラ、オオイヌフグリなど	奥の谷(ルーベで観察)
2	植物観察会	2018	6	16	土	5	0	5	ノアザミ、キツネノボたん、オニタビラコなど	奥の谷
3	水の生き物観察会	2018	6	17	日	24	24	48	メダカ、アメンボ、オタマジャクシ、マツモムシなど11種	奥の谷
4	昆虫観察会	2018	7	21	土	16	8	24	モンシロチョウ、タマムシ、カナブン、キマワリ、クロコガネ、ヒグラシなど31種	奥の谷(ネットティング・ライトトラップ・バナナトラップ)
5	植物観察会	2018	9	22	土	5	0	5	センニンソウ、ワレモコウ、ツリガネニンジン、ゲンノショウコなど69種	奥の谷
6	植物観察会	2018	10	7	日	5	1	6	シリブカガシ、ツブラジイ、アラカシ、コナラ	奥の谷(どんぐりを探そう)
7	野鳥観察会	2019	2	17	日	10	0	10	カルガモ、カイツブリ、トビ、シメなど29種	瀬谷不動駅～春日神社～奥の谷
8	春を見つける観察会	2019	3	2	土	7	11	18	アカガエルの卵、ツクシ、フキ、ハコベ、タネツケバナなど	奥の谷
参加人数合計(延べ)						72	44	123		



野鳥観察会



アカガエルの卵塊

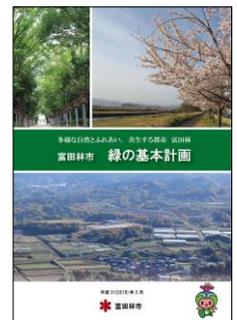
(2) 自然環境保全活用調査

富田林市が里山倶楽部に委託した調査に、協議会が協力して調査に参加した。主として文献調査による富田林の野鳥リストの作成であった。活用調査その17として次のような内容の報告書が作成された。

1. 生物多様性保全のための基礎調査
 - (1) 富田林の野鳥についての文献調査(富田林市の鳥類目録)
 - (2) 生物多様性保全の取組みについて〔①調査結果のまとめ、②富田林の野鳥について生物多様性保全の視点からの提案〕
2. 補足現地調査(奥の谷地区 台風21号及びクビアカツヤカミキリ被害調査)

(3) 富田林緑の基本計画策定への協力

富田林市は2007年に策定した緑の基本計画を2019年3月に改訂した。協議会はこの改訂にあたって議論に参加し、それらの意見が一定程度反映された。また、これらの議論の中で、生物多様性地域戦略の策定の必要性が強調された。



(4) 冊子「富田林の自然」No.17の発行

発行準備中。

また、守る会は以下の調査を大阪自然環境保全協会の自然環境市民大学OBの方々の協力を得て実施した。

①モニ1000里地調査

モニ1000里地調査は環境省が日本自然保護協会(以後NACS-Jと略す)に委託して実施している調査で、守る会は2009年から植物およびチョウの調査を奥の谷で行なっている。2018年は10年目となる。

②南原(みなんばら)の植生調査

守る会は南原でルートセンサスおよび畦に設置したコドラートについての植生調査を実施している。

③錦織公園の植生調査への協力

守る会は保全協会の都市公園自然調査研究会が行なう錦織公園での調査に協力した。ここでの調査はル

ートセンサスにより植生調査を中心に昆虫、野鳥についても調査した。

④その他 調査への協力

このほか、守る会は大阪府立大学学院生のフクロウ調査に協力した。

4. 自然保護活動への支援・援助

(1) 国際ワークキャンプ (表 6)

「国際ワークキャンプ大阪富田林 2018」がNICE と守る会の共催で8月30日(木)～9月13日(木)の間、奥の谷で実施された。奥の谷での国際ワークキャンプは1999年に1回目が開催され、2018年は第20回の記念の開催であった。①人工林の間伐、②竹林の整備(中野町)、③竹林整備(奥の谷)、④観察路整備(階段づくり)を実施した。9月2日(土)に歓迎会が行われ、富田林市から産業環境部長、みどり環境課長、みどり公園係長および担当職員が来賓として参加、市長からのメッセージが紹介された。キャンパーは外国人4人(ロシア2人、ポルトガル、アメリカ)、日本人1人が参加、奥の谷のミカン小屋に宿泊した。ワーク以外にはスライドショー(里山保全と生物多様性、奥の谷の四季)、ディスカッション(各国の環境問題)、クラフトづくり(竹細工など)、着付け、じないまち見学、お花、習字、ホームステイを行った。スタッフを含め地元などから延べ142人が参加した。国際ワークキャンプには協議会から89,382円の財政支援を行った。

キャンプの開催中に台風21号が襲来し、みかん小屋の前の杉の大径木が倒れるなど大きな被害が出た。今後の開催における宿泊施設の検討が必要と思われた。

月日	曜日	午前	午後	夜	参加者数			
					キャンパー	地元	子供	計
8月30日	木		13:00滝谷不動駅集合 小屋生活に関するオリエンテーションなど		5	3	0	8
8月31日	金	プレゼン「生物多様性と里山保全」	ワークのオリエンテーション		5	4	0	9
9月1日	土	ワーク①(9:00～12:30)		歓迎会(17:00～19:00)	5	45	7	57
2	日	ワーク①(9:00～12:30)	習字・お茶		5	14	0	19
3	月	ワーク①(9:00～12:30)	日本の遊びを楽しもう	ホームステイ(16時～)	5	8	0	13
4	火	フリーデー		21時に滝谷不動駅に集合	5	2	0	7
5	水	ワーク②(9:00～12:30)	(流しそうめん昼食)		5	7	0	12
6	木	ワーク②(9:00～12:30)	寺内町見学		5	8	0	13
7	金	フリーデー		21時に滝谷不動駅に集合	5	2	0	7
8	土	クラフト			5	5	0	10
9	日	ワーク③(9:00～12:30)	お花	ホームステイ(16時～)	5	18	0	23
10	月	フリーデー		21時に滝谷不動駅に集合	5	2	0	7
11	火	ワーク③(9:00～12:30)	ディスカッション(14:00～16:00)		5	6	0	11
12	水	ワーク④(9:00～12:30)	さようなら会準備	さようなら会(18:00～20:00;キャンパー主)	5	5	0	10
13	木	片付け、総括	昼食後解散		5	6	0	11
参加者数合計					75	135	7	217

ワーク①:人工林の間伐、 ワーク②:竹林整備(中野町)
 ワーク③:竹林整備(奥の谷)、 ワーク④:観察路整備(階段づくり)



じないまち見学



観察路づくり

5. 協議会参加団体の活動

(1) 金剛の自然環境を守り育てる会

2007年近隣の住宅開発によって失われる自然環境に危機感を持ち、寺池台3丁目自治会の住民有志が中心になって立ち上げた会である。約10年間寺池台小学校5年生と米作りをしてきた。会員の減少と高齢化で、現在は錦織公園につながる遊歩道の整備と環境保全の啓蒙活動をささやかにしている。



錦織公園への遊歩道

(2) 特定非営利活動法人 里山倶楽部

里山倶楽部は、「新しい“里山的”生き方・暮らし方 の提案」をコンセプトと

して、里山の保全管理や環境教育に関するさまざまな事業を行なっています。会員は約 120 名。活動グループのひとつ「とんびくらぶ」では、龍泉寺近くの果樹園で里山初心者が楽しみながら草刈りなどの手入れや果物の収穫などを行なっています。

<講座および自由参加活動>

●里山ボランティアの日（里山体験） ●里山日和（里山体験） ●キッズクラブ事業部（子供対象）

●もりあん（技術講習） ●弘川千年の森（協働事業） ●とんびくらぶ（山仕事体験） ●里山と暮らす応援講座（里山実習） ●源流米パラダイス（棚田の保全活動） ●スモールファーム自給塾（農業研修）

<生産販売事業>

●里山事業部（森林作業請負、炭・薪等の生産販売） ●里山倶楽部自然農場（無農薬米、野菜等の生産販売）

<まちづくり・調査研究活動>

●里山バイオマスエネルギー事業部（薪炭林のエネルギー化研究） ●里山環境教育オフィス（企業・行政との協働事業、ワークショップ等の受託事業）



道普請の実習

(3) 石川自然クラブ

石川自然クラブは、石川の自然について学び、考え、調べ、遊び、行動することを通じて、石川本来の川の流れや河原の自然環境をとりもどし、地域の暮らしと共生する自然豊かな川づくりを行なうことをめざして、以下のような活動を行っています。

①石川の自然や生きものについての学習・観察・調査 ②子どもたちが石川の自然を体験できる機会の提供 ③石川の自然についてのPR活動 ④石川の自然にふさわしい整備や管理についての共生型技術の検討・提案 ⑤地域の人たちや市民団体、行政や専門家との協働の場づくり ⑥石川流域におけるネットワーク活動

毎月一回、第二木曜日に、石川に生息する希少な生きものを守る「自然ボランティア」活動、各季節に植物・魚・昆虫・動物・野鳥の自然観察会も実施しています。また、「石川自然公園自然ゾーン計画運営協議会」や「南河内ほわ〜っと流域ネットワーク」では、行政や地元町会と協働して石川の自然についての様々な取組みを行っています。



希少種ミゾコウジュの保全作業

(4) 嶽の会

2019年1月27日（日）、観察路整備を6人の参加で行いました。今回は主に観察路にたまった落ち葉・枝等を取り除く作業です。落ち葉等をそのままにしておくと、木製の階段が早く朽ち長持ちしないからです。清掃と合わせて、昨年9月の台風で倒れ、通行の妨げとなっているスギ、コナラなどをチェーンソーを使って取り除きました（参加の皆さんお疲れさまでした）。

来年度から、登山・野外活動の経験を生かして里山生活入門（講座）として新たに活動をすすめます。多数ご参加ください。



観察路の清掃

(5) 竜泉・里山クラブ

・定例活動：①ミカン園手伝い（採果、剪定枝の処理、販売）、②クリ、椎茸栽培（剪定、クヌギ伐採、菌打ち）、③サツマイモ、里芋、ネギ栽培（耕作、販売）、④竹林整備（間伐、タケノコ掘り）、⑤出前講座（竹細工の指導）、⑥炭焼き、竹酢液蒸留（竹炭、もみ殻燻炭、竹酢液蒸留）

・新しい取り組み：日本ミツバチの飼育

定例活動は循環型環境保全、当クラブ支援農家への作業協力、地域の児童と交流などをベースに活動をしています。また活動費の捻出のための農作物栽培も重要な取り組みになっています。



里芋掘り

現在地で20年間にわたり活動を続けていますが、高齢化した会員や新しい会員でも体に負担が少なく楽しい里山活動を検討してきました。日本ミツバチの飼育が適さないか、この1年間養蜂実習を行ってきました。いくつかの問題、課題が見つかりましたが次年度から本腰を入れて取り組む予定です。

(6) 富田林の自然を守る会

協議会参加団体の内「守る会」の活動については協議会の活動と一体的な部分が多い。守る会として独自に取り組んだこと、あるいは他団体との共催事業や他団体の講座・行事などを受け入れて取り組んだ。2018年度からは班活動を開始、以下に示す班を編成した。1. 炭焼隊、2. なんぼるがんばる（南原）、3. 米づくり班（自然農・畑）、4. 薪づくり班、5. 中野町竹林整備班、6. 果樹班、7. 施設整備班、8. 里山工作班、9. 観察会班（植物、昆虫、野鳥、水の生き物）、10. 昼食づくり班、11. ミツバチチーム、12. 草刈り班。

(7) NICE 富田林チーム（週末ワークキャンプ活動報告）

2018年4月より、5、6、7、10、11、12月及び2019年1、2月と週末ワークキャンプを開催した。また、2019年3月には香港との国際週末ワークキャンプを開催した。週末ワークキャンプへの参加は、9回でのべ約100名であった。

活動としては、富田林の自然を守る会のご指導、ご協力のもと、間伐、草刈などを行った。また、里山ならではの四季折々の行事（蛍観賞、流しそめん、昆虫観察会、猪解体等）も行い、いずれも参加者から好評であった。

昨年度は西日本豪雨や台風21号等、例年に増して災害の多い年であり、100本以上の倒木や遊歩道の流れた箇所が多くあった。そのような状況の中で、週末ワークにおいても倒木の撤去、土積み、遊歩道の整備等、災害からの復旧作業を行うことができた。

また、講習受講済のリピーター参加者（守る会会員）が新たに草刈機、チェーンソーを扱えるようにしたことで、週末ワークキャンプ参加者の作業の幅も広がったように感じる。

未だマンパワーが必要な作業が多数存在するために、今年度以降も継続して参加者増の取り組みを続け、一人でも多くの方に里山に関心を持ってもらうための活動を続けていく予定である。



週末キャンプ

6. 2018

年度の活動などで特徴的だったこと

1. 奥の谷の設備が充実した（ヘルメット置き場、足洗い場の踏み台、男子トイレの手水鉢、薪小屋、工作用の机など）。
2. 発電機及び水揚げポンプを更新した。
3. 太陽光発電システムのバッテリーを更新した。
4. 20周年記念となる国際ワークキャンプを実施した。
5. 内田林の中央付近から北西に尾根に上る観察路が完成した（市民大学16期実習）。
6. 中野町竹林の整備が進んだ（東側モウソウ竹林とマダケ林の境界の橋、西法面のスロープ、北及び南入り口の門、北東入り口の竹柵）。
7. 台風21号による倒木被害が多数発生した。
8. 米づくり体験の稲作にイノシシによる大きな被害が出た。
9. 稲の馬鹿苗病が発生した。
10. コナラの古木にナラ枯れが多発した。

7. 会議

(1) 役員会

2018年4月20日（金）、5月10日（木）、6月15日（金）、7月20日（金）、10月19日（金）、12月21日（金）、2019年1月18日（金）、2月15日（金）、3月15日（金）

(2) 会計監査 2019年4月25日（木）

(3) 総会 2019年5月7日（火）

第2号議案 2018年度（平成30年度）会計決算報告

歳入

項目	予算	実績	増減(実績-予算)	備考
補助金	270,000	270,000	0	
行事参加費	130,000	101,100	-28,900	
内訳				
里山ホリデー		14,100		
自然観察会		21,600		
米作り体験		24,600		
文化的行事		40,800		
寄付金	350,000	473,730	123,730	
内訳				
「富田林の自然」誌		7,500		
N I C E		27,000		
富田林の自然を守る会より		433,230		
その他		6,000		
雑収入	0	0	0	
繰越金	0	0	0	
総計	750,000	844,830	94,830	

歳出

項目	予算	実績	増減(実績-予算)	備考
報償費	30,000	25,324	-4,676	
消耗品費	100,000	189,894	89,894	
内訳				
事務費	—	22,932	—	
保全活動費	—	98,263	—	
耕作費	—	18,777	—	
その他	—	49,922	—	
燃料費	100,000	110,748	10,748	
内訳				
軽トラ燃料費	—	20,883	—	
作業機械燃料費	—	52,228	—	
発電機燃料費	—	36,057	—	
その他	—	1,580	—	
郵送費	20,000	7,011	-12,989	
賄い材料費	40,000	36,922	-3,078	
使用料及び賃借料	30,000	30,000	0	
備品購入費	10,000	76,558	66,558	
修理費	200,000	235,649	35,649	
施設管理費	30,000	6,630	-23,370	
保険料	70,000	36,712	-33,288	
国際ワークキャンプ費	100,000	89,382	-10,618	
雑費	20,000	0	-20,000	
総計	750,000	844,830	94,830	

次年度への繰り越し金： 0円

市助成金（270,000円）対象分		
報償費	里山クラフト講師謝礼、野鳥観察会講師謝礼、富田林の自然誌原稿謝礼	25,324
消耗品費	事務費、保全活動費、耕作費など	189,894
燃料費	作業機械燃料費、発電機燃料費	88,285
修理費	チッパー、軽トラ、給水タンク、電動工具	235,649
国際ワークキャンプ費		89,382
合計		628,534

第3号議案 監 査 報 告 書

平成31年 4月25日

富田林の自然を守る市民運動協議会
会長 田淵 武夫 様

会計監事 富田林の自然を守る市民運動協議会
理事 喜田 光子 

富田林の自然を守る市民運動協議会規約第6条に基づき、平成30年度会計に関する監査を下記のとおり実施したところ、次のとおりであったので報告します。

1. 実施日時 平成31年 4月25日 (木) 9:00 ~ 10:30

2. 実施場所 富田林市役所 産業環境部 みどり環境課

3. 監査結果

事 項	意 見	指 摘 事 項	備 考
事業等の 実施状況	問題なし	特になし	
会計事務の状況	問題なし	特になし	
そ の 他	特になし	特になし	
総 括		(適正) 概ね適正・不適正	

第4号議案 2019年度事業計画（案）

1. 自然環境保全活動

(1) 里山保全活動

「里山ホリデー」と称して里山保全の作業を下記の日程で行う。作業の内容は、雑木林の下樵り、竹林整備と竹林の拡大防止、人工林の管理（間伐、枝打ち、伐倒木の皮むきなど）、休耕田・放棄田・溜池の土手などの草刈り、果樹の手入れ、自然観察路（作業路）造成・整備などとする。場所は奥の谷および南原とその周辺で、時間は原則として毎回10:00～15:00頃とする。

日程：2019年4月14日（日）、5月26日（日）、6月23日（日）、7月21日（日）、10月20日（日）、11月10日（日）、12月22日（日）、2019年2月9日（日）、3月15日（日）。なお、12月22日は「里山保全作業と交流会」と称して午前は里山保全作業を行い、午後は交流会とする。また、富田林の自然を守る会は30周年記念事業として協議会が2006年に提案した奥の谷周辺の観察路について、その両側約10mに里山の管理を実施する計画を立案しており、雑木林の下樵り、竹林整備、人工林の管理についてはこの計画を踏まえて実施する。

(3) 中野町竹林管理

中野町の河岸段丘および段丘崖の竹林を整備し、生物多様性を向上させるとともに地域の憩いの場所として活用することを目指す。下記の日程で作業を行う。作業は竹の伐採、チップ作業、伐採木の処理、草刈りなどである。また、適宜子どもを対象とした竹で遊ぶ会などを行う。時間は原則として毎回9:30～12:00とする。

日程：2019年4月6日（土）、4月21日（日）、5月4日（土）、5月19日（日）、6月1日（土）、6月16日（日）、7月6日（土）、7月28日（日）、8月3日（土）、8月18日（日）、10月5日（土）、10月14日（月；体育の日）、11月4日（月；振替休日）、11月17日（日）、12月7日（土）、12月15日（日）、2020年1月19日（日）、2月1日（土）、2月23日（日）、3月7日（土）、3月22日（日）

2. 文化的行事

(1) 米作り体験

借地している奥の谷の水田で有機栽培による米作りを行う。収穫した米は原則として各種行事に使用する。

① 田植え

日時：6月8日（土）10:00～15:00頃（予備日9日）。

② 稲刈り

日時：10月12日（土）10:00～15:00頃（予備日13日）。

③ 稲こぎ

日時：11月2日（土）10:00～15:00頃（予備日3日）。

(2) 春の野草を食べる会

日時：4月29日（日；昭和の日）10:00～15:00頃。

場所：奥の谷。

(3) 里山クラフト

日時：11月23日（土；勤労感謝の日）10:00～15:00頃。

場所：奥の谷。

(4) どんどともちつき

日時：1月12日（日）10:00～15:00頃。

場所：奥の谷。

(5) 里山生活入門

例年嶽の会が中心で実施してきた観察路整備を中止し、この事業に変更する。のんびりと里山生活を楽しむ会とする。

日時：1月26日 10:00～15:00頃。

場所：奥の谷

3. 自然観察・調査研究・提言活動

(1) 自然観察

①植物観察会

下記の日程でおこなう。原則として奥の谷を中心として実施するが、適宜地域を変更する。また、内容についても検討する。

日程:4月20日(土)、6月2日(日;金剛コロニー~観心寺)、6月15日(土)、9月21日(土;金胎寺山)、10月27日(日;ドングリ観察)。

②昆虫観察会

子どもを中心に、ネットによる自由採集、バナナによるベイトトラップ、ライトトラップ、夜間ルート観察などを行う。

日時:7月20日(土) 15:00~21:00頃。

場所:奥の谷。

③野鳥観察会

日時:2月18日(日) 9:00~13:00頃。

場所:近鉄滝谷不動駅~石川~春日神社~奥の谷。

④水の生き物観察会

「水の生き物池」で水生生物を採集・観察する。

日時:6月30日(日) 10:00~13:00頃

場所:奥の谷。

⑤観察会入門(春を見つけよう)

早春の動植物を見つける。

日時:3月8日(日)

場所:奥の谷

(2) 自然環境保全活用調査 その18

富田林市が里山俱樂部に委託して行う調査に積極的に協力する。

(3) 冊子「富田林の自然」No.18の発行

「富田林の生き物、自然景観、保全活動などを写真で紹介」、「専門家による自然保護に関する解説」、「富田林の生物調査などの紹介」、「自然環境保全活用調査の抜粋」、「協議会参加団体の活動紹介」、「協議会の活動報告」などを内容とする冊子を3月に発行する。

(4) 生物多様性保全の取り組み

2019年3月に「富田林市緑の基本計画」が改定された。また、「自然環境保全活用調査」においても2016年度より「生物多様性保全のための基礎調査」が行われてきている。これらの取り組みを踏まえて「生物多様性地域戦略」の策定に向けて検討する。

また、里山保全活動などで発生する間伐材や竹材を木質バイオマスとしての活用を検討する。さらには、今後の自然保護活動の担い手の養成を視野に、生物多様性保全を中心とした講座の開催、地域の人にかかわる団体などとの連携などについて検討する。

4. 自然保護活動への支援・援助

(1) 国際ワークキャンプ

「国際ワークキャンプ大阪富田林2019」が富田林の自然を守る会とNICEの共催で8月29日(木)~9月12日(木)の日程で開催される予定となっている。この取り組みへの助成をはじめ協力・支援を行う。

(2) 協議会加入団体への支援

当協議会加入団体への支援・援助を行う。

5. 会議

(1) 役員会

原則として8月を除く毎月第3金曜日の10時~12時に市役所において開催する。

(2) 総会

2020年5月に市役所で開催する。

第5号議案 2019年度予算案

歳入

項目	予算	前年度予算	前年度実績	増減 (予算-前年度予算)	備考
補助金	270,000	270,000	270,000	0	
行事参加費	110,000	110,000	101,100	0	
寄付金	300,000	400,000	473,730	-100,000	自然を守る会から20万円を予定
雑収入	0	0	0	0	
繰越金	0	0	0	0	
総計	680,000	780,000	844,830	-100,000	

歳出

項目	予算	前年度予算	前年度実績	増減(予算-前年度予算)	備考
報償費	30,000	30,000	25,324	0	
消耗品費	150,000	200,000	189,894	-50,000	
郵送費	10,000	10,000	7,011	0	
燃料費	80,000	80,000	110,748	0	
賄い材料費	50,000	50,000	36,922	0	
備品購入費	30,000	30,000	76,558	0	
修理費	100,000	150,000	235,649	-50,000	
施設管理費	10,000	10,000	6,630	0	
使用料及び賃借料	30,000	30,000	30,000	0	
保険料	70,000	70,000	36,712	0	
国際ワークキャンプ費	100,000	100,000	89,382	0	
雑費	20,000	20,000	0	0	
総計	680,000	780,000	844,830	-100,000	

第 6 号議案

富田林の自然を守る市民運動協議会 2019 年度役員(案)

役員名	氏 名	団 体 名
会 長	田淵 武夫	富田林の自然を守る会
副会長	笠原 英俊	石川自然クラブ
会 計	上角 敦彦	嶽の会
会計監査	喜田光子	金剛の自然環境を守り育てる会
理 事	寺川 裕子	NPO法人里山倶楽部

団 体 名	郵便番号	連 絡 先	電話番号
富田林の自然を守る会	584-0024	若松町四丁目16番21号	0721-24-7960
竜泉里山クラブ(代表:中島正博)	586-0094	河内長野市小山田町3079-8	090-7118-2517
里山倶楽部	584-0024	若松町四丁目20番6号	0721-25-3128
石川自然クラブ	584-0086	津々山台一丁目5番1号	0721-29-7894
嶽の会	584-0024	若松町四丁目6番29号	0721-24-8757
金剛の自然環境を守り育てる会	584-0073	寺池台三丁目15番10号	0721-28-4737

※緊急連絡先 田淵会長 携帯電話 090-8888-3912

オブザーバー参加 日本国際ワークキャンプセンター関西事務局

事務局	産業環境部	杉分 英夫	部長
	みどり環境課	泰中 俊明	課長
		浅尾 覚	課長代理
	みどり公園係	西田 圭祐	係長
		山口 はるか	係員
		北野 紗弥香	係員

〒584-8511 富田林市常盤町1番1号 富田林市役所
 電話 0721-25-1000 内線 431 FAX0721-25-9980
 Eメール midorikankyo@city.tondabayashi.osaka.jp